

明石散策MAP

源氏物語を訪ねるコース

所要時間：約1時間30分
往復距離：約2.9km

コース周辺

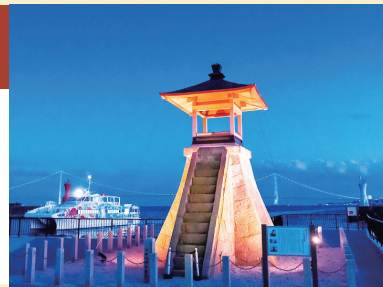
みどころ施設

時間あったら
みてって!



1 きゅうはとさきとうろうどう 旧波門崎燈籠堂 (旧灯台)

1657年頃に5代藩主松平忠国によって造られたという旧灯台。明石市指定文化財に登録されており、現存する日本旧灯台のうち設置年代は2番目に古く、1963年まで使用されていました。



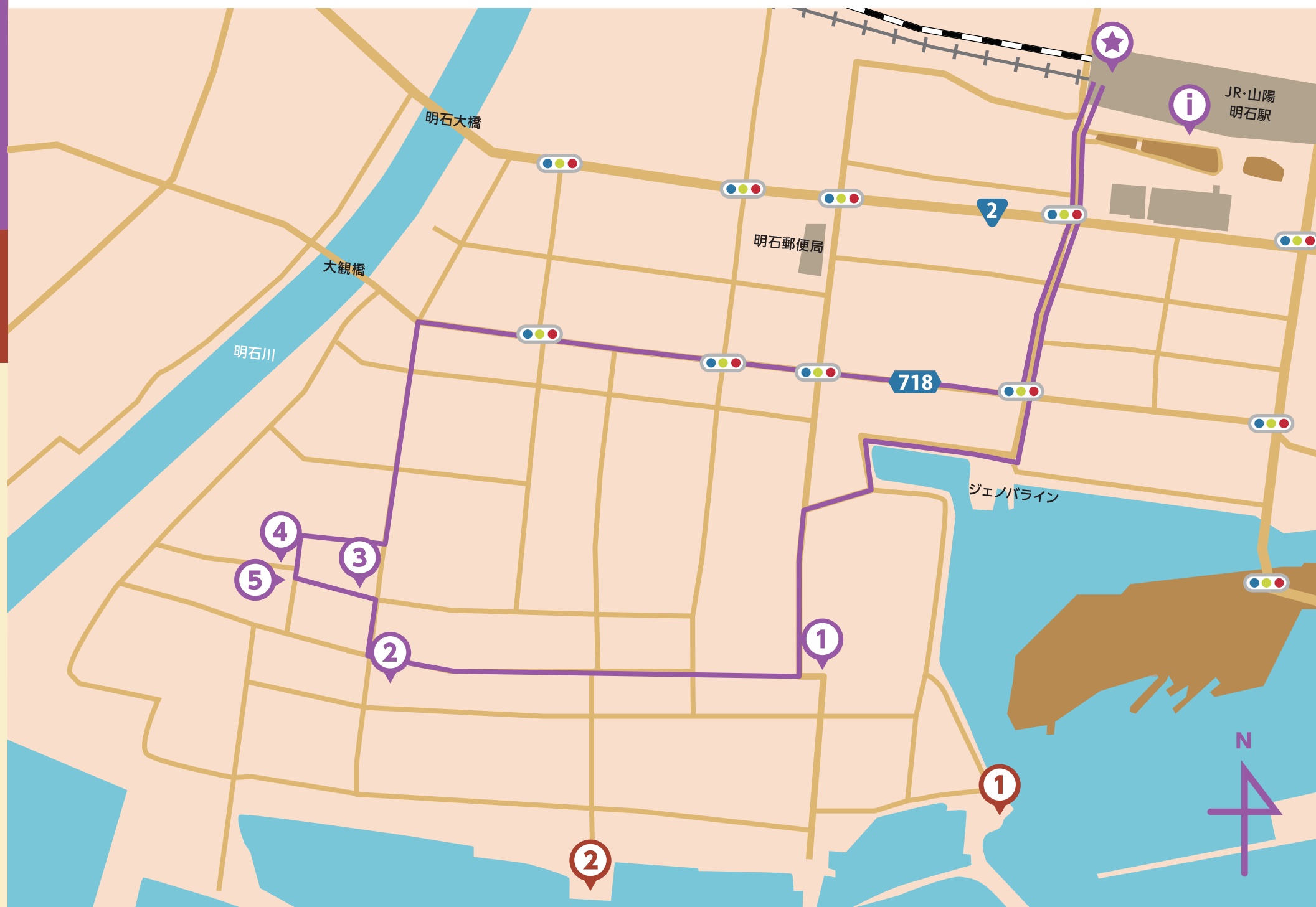
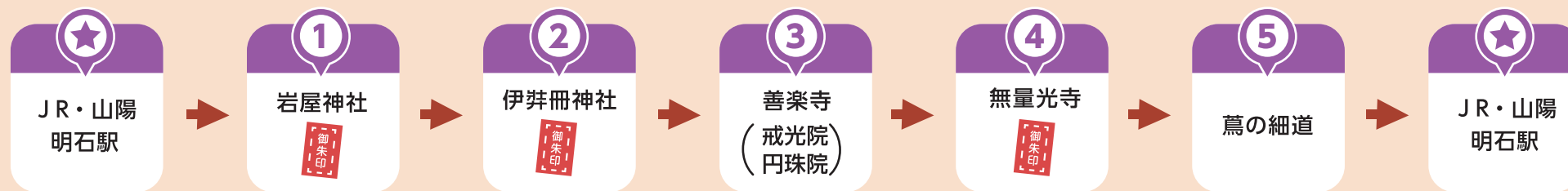
2 明石浦漁業協同組合

明石では、明石海峡の早い潮流で育ち、身の引き締まった約100種類の魚が水揚げされます。明石浦漁業協同組合では午前11時頃からセリが行われ、地元では「昼網」と呼ばれる新鮮な魚がこの漁協から届けられます。



セリ見学について

セリ見学にはあらかじめ予約が必要です。
詳しくは明石観光協会までお問合せください。(当日予約不可)
(一社) 明石観光協会 TEL: 078-918-5080 休: 月曜、年末年始





明石藩 五代藩主
松平忠国公

源氏物語を訪ねるコース

最古の長編恋愛小説「源氏物語 13帖」の舞台になった明石。文学を好んだ5代明石藩主松平忠国が文学史跡を造りました。善楽寺（戒光院）には忠国自詠の歌が彫られた碑があります。平安時代に書かれた文学に思いを馳せて散策をお楽しみください。



① 岩屋神社



平安時代に編纂された延喜式神名帳（えんぎしきじんみょうちょう）に記載されている播磨国明石郡式内社の一つです。海上安全・漁業繁栄の神として海で働く漁業関係者から厚い信仰を集めています。



これが有名なんよ！

明石の夏の風物詩「おしゃたか舟神事」
毎年多くの参拝者で賑わっています。

② いざなみ 伊弉册神社



祀られているのは、国生み、神生みの女神様です。相殿には息子のスサノオ尊が祀られています。女性にまつわるご利益が多く頂けると人気の神社です。

これが有名なんよ！

三本松が有名なんです！
根のところから3本に分かれています。

③ 善楽寺（戒光院・円珠院）



善楽寺は、戒光院・円珠院の総称で、市内で最も古い寺院です。戒光院には平清盛を供養したという「平清盛五輪塔」や、源氏物語に由来する「明石入道の碑」があり、円珠院には宮本武蔵が作庭したと伝わる枯山水の一部があります。

共通点はわかるかな？

明石市内の宮本武蔵作庭の伝承があるのは
円珠院・本松寺・雲晴寺

④ 無量光寺



5代藩主松平忠国が設定した「源氏物語」のゆかりの地で、光源氏が月見をした寺として知られ、境内には「源氏稲荷」があります。左甚五郎作と伝わる山門の彫り物が有名です。また、劇作家で評論家の倉田百三が逗留するなど文学関係者とのかかわりも深い寺です。

⑤ 蔦の細道



無量光寺山門前にある細い道は「蔦の細道」と呼ばれ、光源氏が「岡辺の館」の「明石の君」に逢うために通った道のモデルとされています。

結構遠いよ！

無量光寺から岡辺の館跡と
いわれていた場所まで
現在の道を使って
6.4km離れています。

源氏物語十三帖 明石

あらすじ



明石入道は光源氏を客人として手厚くもてなし浜辺の館に住まわせます。そして一人娘明石の君との結婚を勧めます。光源氏は明石の君と文のやり取りを交わし、仲を深めていきました。

翌年、朱雀帝はついに光源氏の帰京を許し、光源氏は都へ戻るになりました。光源氏の子を身ごもった明石の君は別れを嘆きますが、光源氏はいつか明石の君を迎えると約束し、去っていきました。

日本最古のテーマパーク？

明石が「源氏物語」の舞台となっていたことから、五代藩主松平忠国が、戒光院を「源氏物語」に登場する明石入道の「浜辺の館」にみなし、「光源氏古跡明石之浦之濱之松」の石碑、「明石入道の碑」を建立しました。

源氏物語の史跡はフィクション文学史跡であることから、明石は日本最古のテーマパークといえるかもしれませぬ。源氏物語に思いを馳せながら、ゆつくりと散策されてはいかがでしょうか。

